

武蔵野市市議会議員  
つかきみの

15

深田貴美子

# 《いっぽいっぽ通信》



6月、9月議会では、徹頭徹尾「現場主義」をモットーに、武蔵野が抱える重大課題に迫りました。

特報!

## 「いっぽいっぽみんなで語る会」第2弾開催!!

日時：平成22年11月28日(日)午後6時  
場所：武蔵野公会堂第一会議室  
深田貴美子の「感謝!感激!実録実績特大号」をもれなく配布予定



## 6月&9月合併号 市の説明責任を問う



心を入れ替えて!

### 下水の垂れ流しを早急に改善せよ!

現在、私たちの下水(排泄汚水+生活雑排水+雨水)が、1.5mm~4.5mmの降雨でも管渠内のそれぞれの管を越流し、「希釈」されているとはいえ、近隣区市の善福寺、野川、神田川に垂れ流され続けていることをご存じでしょうか?

市は、平成25年を目途に、「東町1丁目法政一中・一高会館跡地」および、「東町4丁目通称ポンプ場公園」の2か所に、それぞれ10,000㎡、1,200㎡の「下水道合流改善施設」(総工費35億円)の建設を予定しています。

5月30日の説明会(於本宿コミセン)での資料によれば、年間降雨回数116回のうち、約半分の51回は「未処理の汚水」のまま、善福寺川に垂れ流しになっています。今回の「下水道合流改善施設建設」は、この内の26回相当を改善する計画です。

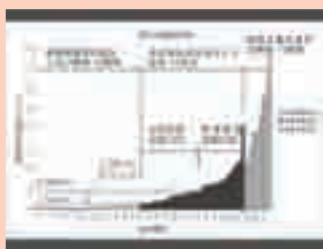
問題は、残りの25回を「流出許容」すなわち「希釈されているから、流してよし」という解釈をしていることです。

説明会当日、杉並区議3名が駆けつけ「このほとんど希釈されていない汚水が一番臭い!」との訴えがありました。

そもそも、武蔵野市は都市の基盤整備が早期に行われたために、汚水と雨水を同じ管に収める「合流式」です。後発で整備が行われた自治体では、管を別にする「分流式」を取り入れ、雨水は再利用し、環境に配慮した下水道事業を営んでいます。都市型豪雨などに対応するためには、雨水をしっかりと地中に浸透させる雨水の浸透施設、浸透ます、トレンチ、タンク、浸透道路などの総合的な取り組みが必要です。

6月議会では、「希釈」を前提とした「垂れ流し」の現状の猛省をうながし、杉並区との協議の現状を質したところ、市長からは「杉並区との具体的な調査・協議は把握していない」との回答がありました。

また、各家庭で設置可能な雨水の「浸透ます」、「タンク」等の増設と、「市民の皆様への丁寧な説明とご協力をお願い」に取り組むことを質したところ、「現在の市内24,000基の雨水浸透ますを、年内に30,000基設置を目指し、しかるべき手段で、広報啓発に早急に取り組む」と回答を得ました。



本気を出して!

### 「希釈」から持続可能な「水循環社会の形成」へ

し尿(=うんち+おしっこ)は、すでに「資源」として活用され、世の中は「水は回る」水循環社会形成に向かっていきます。9月議会では、本市の「垂れ流し」の下水を改善する、具体的な将来の展望について市の考え方を質しました。

本市の7割の下水は、「市の独自の事業」として、区部の落合、森ヶ崎にて処理をお願いしています。また、民間では「垂れ流し」を改善するには、下水汚泥の資源化、下水処理によるバイオガスの利活用といった循環型社会整備の「水ビジネス」も始まっています。

「水循環社会の形成」を自治体でも実現するために、別々に事業化されている本市の「下水道部」と、独立事業会計となっている「水道部」とを一体化し、経営の効率化と水循環環境の促進を図るべきことを質しました。

市長からは、「近隣区市との<広域連携>の必要性は強く認識しており、<希釈オンリー>ではなく、下水汚泥の資源化に協力していきたい。また、「経営効率化を図る八王子市、青梅市、小金井市、町田市等を参考に、<上下水道事業の一体化>を研究していく」との回答を得ました。

### 9月議会本会議において、本市における「地下水保全条例」制定を提案しました。



ルール作りを!

同議会では、「下水道合流改善施設」周辺の市民の方々から、「雨水の地中化処理」を推進する「雨水浸透ます・タンクの積極的な設置の推進」を求めて、建設委員会に陳情をいただきました。

委員会は、「財政状況を鑑み、努力されたい」の付帯付きの採択をしましたが、これではまだ具体的に何が担保されたのかが明確ではありません。より根本的な改革として考えると、法律によるルール付けが必要です。

水循環社会を構築するための我が国の現行法では、地下水と地表水を含めて、水をトータルに管理するための基本法や総合法といったものがありません。現在、「水制度改革国民会議」(2008年6月発足)では、超党派の国会議員で「水政策推進議員連盟」が立ち上がり、「水循環基本法案」が提出されています。

だから、武蔵野の「おいしい水」を飲み続けるためにも、「条例化」はマストアイテムです。本会議委員会審査報告に対し、法的根拠に基づき雨水処理を推進するために、「地下水保全条例」制定の必要性を強く要望しました。

——持続可能な環境都市を目指して、がんばれ!武蔵野市!



### お預かりした税金を、「デリバティブ運用」することを早急に止めよ!

市が、財政調整基金の一部を、平成19年に5億円、平成20年に10億円、平成21年に10億円を金融派生商品(=デリバティブ)である「マルチ・コーラブル定期預金」で運用しつづけていることについて質しました。

この「権利行使期限付解約特約定期預金」は、1年間の短期で、固定金利、元本保証ですが、肝心の解約権利はなんと金融機関の側にあります。

平成20年のリーマンショックでも明らかなように、円相場の変動、豪ドル暴落=円急騰の恐怖や商品自体の崩壊等、相場に精通していない自治体には、極めてリスクのある運用です。他の自治体では、目の届きにくい外郭団体でデリバティブ運用を図り、30年の塩漬け基金が発生してきています。



絶対にだめ!



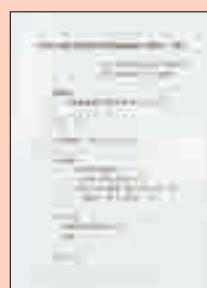
平成20年、21年には、26市による都市会計事務協議会(通称会計課長会)では、「債権による資金運用、デリバティブの注意喚起講習会」を開催しており、本市の会計担当責任者も出席しています。

平成20年度決算委員会では、財務担当者より、「マルチ・コーラブルについては、いい条件であればやる」と積極的な姿勢の回答をしています。

これではいけないと、皆様からお預かりした大事な「公金」運用についての、市の基本的な考えかたについて改めて質したところ、市長は「最終的な責任は、私が入ります」と回答しました。

9月議会では、「平成21年度決算委員会」認定にかかわる質疑討論において、とどまることを知らない「円高」を考慮し、平成22年12月22日に満期になる、「マルチ・コーラブル定期預金」の運用について、再考するよう強く要望しました。

——是非、皆様も「情報公開請求」で、その危険な「契約書類」を確認してみてください。





## 吉祥寺東部地区の再開発に、市は責任を持って!

「旧近鉄裏」と今も言われる「現ヨドバシカメラ」東部の「イースト吉祥寺」。本町1丁目22番街区の約5割を所有する(株)S社は、大規模開発基本構想「(仮称)吉祥寺計画」(14階建90住戸、1店舗(86)、1事業所(86)、一般有料駐輪場(94台))を市に提出しました。

このエリアは、昭和40年代に吉祥寺駅周辺再整備のため、吉祥寺大通り(ヨドバシ前)を通し、東部地区を住居用地から商業用地に変更した結果、通称近鉄裏=ピンク街に変貌してまいりました。

まちは、行政の計画とまちづくりの姿勢でいかようにも変わります。

市は、平成21年度にUR都市再生機構に、東部地区も含めた吉祥寺の再開発プロジェクトを業務委託しました。その成果物である「進化するまちNEXT-吉祥寺プロジェクト」には、具体的な再整備計画や実行予定の記述はどこにも見当たりません。

9月議会では、(株)S社の開発を前に「東部地区全体の再整備の具体的な計画策定」と「実行スケジュールおよび推進体制の明確化」について、市の考え方を質しました。

市長からは、「『NEXT-吉祥寺』は、『吉祥寺ランドデザイン』をブレイクダウンしたものであり、<これから>組織編制を検討する」との答弁がありました。

——民間の開発のスピードは速い!

もっと「まちづくり」に熱意をもって!



## 発達障害児童・生徒への「究極の支援」とは何か?

本市では、障害を持つ児童・生徒への学校教育での支援として、「特別支援教室」「固定級」「通級」等の設置や「ティーチング・アシスタント」などを配置して、多様な選択を可能とした支援体制を進めています。

平成20年度の「特別支援教育モデル校」の実施検証を踏まえ、就学前の早期支援体制のひとつとして、「5歳児健診の導入」について、市の考え方を質しました。

山上教育長からは、「<個別の支援ファイル><支援シート><個別の支援計画>の作成と、小金井特別支援学校による教員への研修指導に努め、子どもが達成感、成就感を感じられることを大切にしている」とことや、「保と幼と小の教員同士の情報交換をさらに充実していきたい」との回答を得ました。

また、5歳児健診については、「健康診査後の相談や支援をさらに充実させ、今後医師会等、関係機関と十分な検討を行っていききたい」との回答を得ました。

さらに、現政権のもと、「障害者制度改革推進会議」が進める「インクルーシブ教育」については、「目指すべき方向ではあるが、<理念先行型>であり、人材や予算などの基盤整備について慎重に議論されるべき」との回答がありました。

※インクルーシブ教育…インクルーシブ(inclusive)とは、「含んだ、いっさいを入れた、包括的な」という意味です。障害を持った方が排除や保護の対象ではなく、障害がない方と同様の権利をもった主体として、社会のあらゆる場面で共に暮らせる「共生社会」を目指すというものです。具体的には、「特別支援教育」の究極のスタイルとして、できるかぎり「通常学級」で共に学びあうことを目指した考え方です。



## 「自治基本条例制定」を第5期長期計画策定とセットで推進してはいかが?

「市民が真ん中」のまちづくりには、市民・行政・事業者等の役割とルール等を記す「自治基本条例」は必須です。本来は、すでに策定が始まっている「第5期長期構想・長期計画」策定前に、制定されるべきでした。平成22年3月の一般質問では、「条例化は、私のこの期の任期の間に」と回答を得たことから、いっそのこと、新潟県上越市のように、長期計画策定と同時に議論を進め、制定につなげることを提案しました。市長からは、「今長期計画で議論を深め、その後条例制定に向かいたい」との回答を得ました。

### 課題となった「社協」と「公社」社屋移転、再検討へ

社屋移転問題に意義あり!と通信(いっぽいっぽ通信「議会編」第13号平成22年5月発行)にてお知らせしました。その後、社協と福祉公社が設置した「検証委員会」での5回の審議を経て、8月末に市に報告書が提出されました。

この件については、①社協を日頃支える市民へのヒアリング、周知がなかったこと。②特定の事業者自社ビル総工費4億円に対し、3億円もの公金が「建設協力金」として充当され、20年間家賃を払っても「柱一本」社協のものにならないこと等が問題となりました。

ここで、一旦移転先は白紙になり、第5期長期計画や、平成23年から策定予定の「武蔵野市健康福祉総合計画」との議論を踏まえて、武蔵野の地域福祉を考える時間的猶予を得たと考えることができます。

社協こそ、地域の福祉力アップのエンジンです。2003年社会福祉法に「地域福祉計画」が定められ、「地域福祉」を担う社協の役割はますます重くなりました。従来の「行政=社会福祉」「社協=地域福祉」という役割分担はもはや成り立ちません。まさに、社協こそ住民自治の「福祉を創る」原点です。

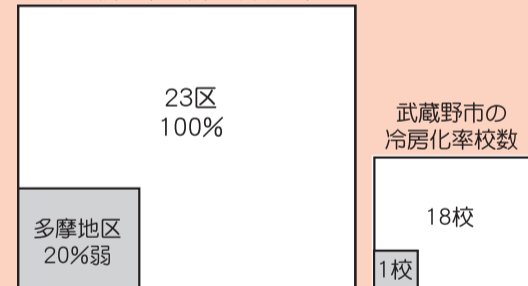


### 市内18校の速やかな「冷房化」を!

学校環境のトータルな改善は、安全管理だけでなく、子どもたちの学習意欲へとつながります。

今年の記録的猛暑は、もはや根性論だけでは乗り越えることはできません。都内23区では、「冷房化」はすでに小中学校100%設置です。多摩地域では、20%弱の設置率です。子どもの学習環境に「多摩格差」があってははいけません!都に強く対応を求めます!

小学校・中学校の冷房化率



### いつまでもお元気で!

今年も、日赤奉仕団の皆さんを通じて、約14,217人の75歳以上の高齢者の方々に、市長からのお祝いのメッセージと「お祝い品」をお届けしました。こうした活動を通じて、武蔵野では地域のみなさんのお顔がつながっていくのです。



### 三鷹北口の未来にむけて「地区まちづくり準備会」始動!

平成22年9月26日(日)に、「三鷹北口地区まちづくり準備会」が設立されました。準備会は、「武蔵野市まちづくり条例第26条」に則り、会員26名、オブザーバー11名の総勢37名により構成されました。今後、条例上の「協議会」を目指して、エリアの住民のみなさんと共に、北口の未来のまちづくりを防災・安全・環境・福祉・子育て・商業活性化などの様々な観点で検討していくそうです。月一回の月例会が予定されています。詳細は、以下の連絡先まで。

●事務所 河原雅子  
電話/FAX0422-53-1814 武蔵野市西久保1-3-2  
e-mail bobine@parkcity.ne.jp 年会費¥1,000(一世帯)

### アトレ東口改札口が、朝7:30から開くことになりました!!

東部地域の通勤、通学の方々には、長らくお待たせいたしました。これからは、駅前横断歩道を渡らずに、駅ホームに向かえます。JR駅舎の耐震改修工事で、エレベーターも設置されます。長年の悲願にお応えいただき、JRさん、アトレさんありがとうございます!!



## Profile 深田貴美子【ふかだ・きみこ】 完全無所属

- 1959年7月16日生まれ。本籍地長野県。干支は亥ではなく、猪。
- 吉祥寺本町1丁目在住
- 血液型/A型
- 吉祥寺回遊歴32年
- 港区立青山中学→都立日比谷高校→東京女子大学社会学科卒
- LVMH(レイ・ヴィトン&モエ・ヘネシー)で財務担当 育児のため退社

- 子育て支援活動の傍ら、東京女子大学大学院博士後期課程在籍「高度情報化・分権社会における市民活動と自治」執筆中。
- 武蔵野市長期計画市民会議委員
- 吉祥寺村立雑学大学「さんか塾」コーディネーター
- 所属委員会  
総務委員会委員  
都市計画審議会委員  
青少年問題協議会委員

- 趣味/書道、観劇、音楽(クラシック~jazz増尾好秋♡)、再現料理
- 特技/弓道2段
- 家族/夫(熊本産)娘(広尾産) こん(ミニチュアダックスフント 越ヶ谷産)
- 目指すもの/ハブ空港
- 好きな言葉/一期一会

### お力をお貸しください! 深田貴美子伏してのお願い!

◆郵便振替口座 00180-0-578586  
口座名 深田きみ子といっぽいっぽの会  
ご協力いただける方は、以下にご連絡くださいませ。

いつでもお気軽にご相談ください

電話 090-8025-4457  
メール ippo-ippo@fukakimi.net まで

<http://www.fukakimi.net>

武蔵野は  
**深田だ!**  
独立独歩